

令和4年1月20日発信

## 令和3年1月～12月道内卸売市場取扱実績などについて

### I. 令和3年1月～12月道内卸売市場取扱実績について

令和3年1月～12月の道内卸売市場取扱実績を取り纏めました。

消費地市場の取扱高は、青果物が1,224億7,842万3千円で前年同期比2.3%減、水産物は1,498億4,807万1千円で3.9%増、花きは114億7,949万6千円6.3%増で、合計は2,875億7,399万3千円で、前年同期の2,839億6,817万2千円から36億582万1千円、1.3%の増加となりました。

消費地市場の取扱数量は、青果物が50万993トンで前年同期比0.5%減、水産物が14万5,382トンで0.4%増、合計は64万6,374トンで、前年同期の64万8,091トンから1,717トン、0.3%減少となりました。

花きは1億3,154万2千本鉢で、前年同期の1億3,240万本鉢に比べ85万8千本鉢、0.6%減少となりました。

生産地市場の取扱高は1,359億8,504万8千円で、前年同期の1,069億5,930万5千円から290億2,574万3千円、27.1%の増加、取扱数量は70万7,024トンで、前年同期の71万9,779トンから、1万2,755トン、1.8%の減少となりました。

なお、水産部門の消費地、産地を合わせた総合計は、数量が85万2,406トン、前年同期比1.4%減、金額が2,858億3,311万9千円、13.8%増で、数量が減少したものの、金額は増加となりました。

道内卸売市場取扱実績の総合計は4,235億5,904万1千円で、前年同期の3,909億2,747万7千円と比較して326億3,156万4千円、8.3%の増加となりました。

なお、データを協会ホームページの卸売市場情報に掲載しています。

## Ⅱ. 新型コロナウイルスの冬期間における感染拡大防止に向けて

寒い日が続き、屋内における活動も増える中、国内でのオミクロン株の感染の広がりも踏まえ、道内の感染拡大を回避するために、基本的な感染防止行動の実践が求められております。

卸売市場の皆様には、令和3年12月14日に改正された「卸売市場における新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン」なども参考に、引き続き各施設の実情に応じた感染予防対策や従業員の感染予防・健康管理等の取組を推進していただきますようお願いいたします。

なお、新型コロナウイルスの感染予防対策や支援の情報などが、北海道庁のホームページで公開されています。

(北海道ホーム > 新型コロナウイルス感染症に関する情報)